

平成24年11月28日

薬事・食品衛生審議会

平成24年度第4回指定薬物部会の審議について

1 指定薬物部会での審議について

(1) 指定薬物の包括指定について

- ・合成カンナビノイド系に多く見られる骨格の特定の位置に置換基^{*}が様々な組み合わせで結合した各物質について審議。
- ・中心となる骨格（基本骨格）の名称は
(1H-インドール-3-イル)(ナフタレン-1-イル)メタノン
(JWH-018 (合成カンナビノイド系の物質で平成24年に麻薬に指定)などの基本骨格)
- ・各物質について、指定薬物の要件に該当するか、中枢神経系への影響にかかる蓋然性を評価。
- ・対象となる物質は、775種類（うち、麻薬、指定薬物に指定されている物質は15種類）。
- ・審議対象とした物質群について、指定薬物として指定することが適当との結論となった。

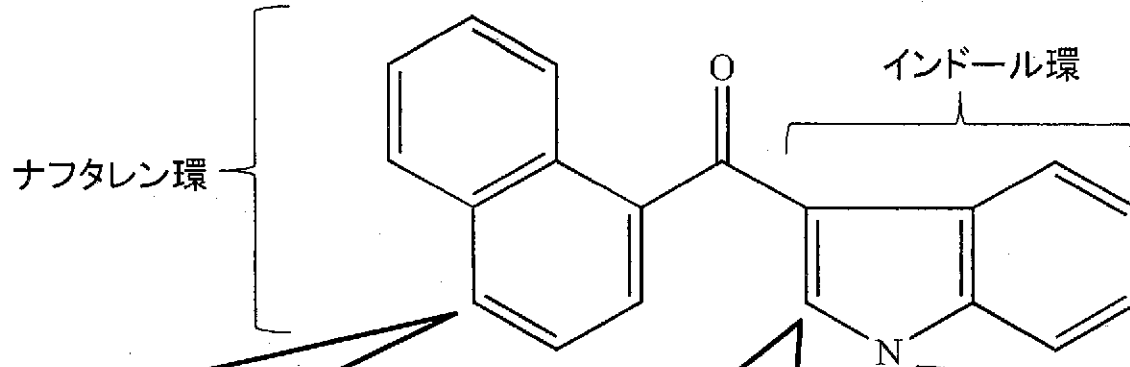
※置換基：化学的な骨格のある位置に結合する原子団
(例えば、メチル(CH₃-)基など)

2 今後の予定

指定対象となる物質群についてパブリックコメントを求め、その結果を踏まえつつ、早ければ省令を1月中旬めどで公布する予定。施行は2月中旬。

今回の包括指定の範囲のイメージ

基本骨格: (1H-インドール-3-イル)(ナフタレン-1-イル)メタン
(JWH-018(合成カンナビノイド系の物質で平成24年に麻薬に指定)などの基本骨格)



12種類の置換基のいずれかが結合する場合と何も結合しない場合がある

例: 直鎖状アルキル基(-C₅H₁₁等)

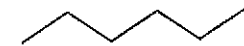


塩素等

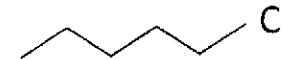
メチル基(-CH₃)が結合する場合としない場合がある

31種類の置換基のいずれかが必ず結合する

例: 直鎖状アルキル基(-C₅H₁₁等)



末端に塩素などが結合した直鎖状アルキル基(-C₅H₁₀Cl等)



中枢神経系への影響を推定

⋮

775物質が含まれる

(うち、麻薬、指定薬物に指定されているものは15物質)